



2021.3.28

ニリンソウ自生地保護 活動情報

赤塚公園ニリンソウ
を守る会

編集責任：運営サポーター／
木村松夫 090-8646-9757
akatsukanironso@gmail.com



ニリンソウ月間中のサービスセンター主催の行事は中止になりました。ご来園のみなさまには、万全のコロナ感染防止対策を取った上で、ニリンソウをお楽しみください。

- ・ボランティアによる小規模自主活動
4/5、4/12、4/19 9:00~12:00
植物の観察・記録活動 ため池公園梅林下集合→大門まで歩きます。
- ・4/11(日) 10:00 サービスセンター出発 → 赤塚公園
武蔵野台地崖線(徳丸地域)のニリンソウ観察会

ニリンソウ満開 以前より2週間早い



昨年に続いて今年も公式行事を中止せざるを得ない「ニリンソウ月間」ですが、そんな人間社会の事情におかまいなく、ニリンソウは今年も元気に咲いてくれました。

1982年から手掛けられたニリンソウ自生地の保護活動ですが、毎年のニリンソウ観察 Day は4月の第二日曜日に行ってきました。しかし、この数年、満開期が早まってきて、2019年からは観察 Day を4月第一日曜日としてきたのですが、今年はさらに早く3月中の満開となりました。



ニリンソウだけを見るのではもったいない！ 生物多様性が生きている赤塚公園の林と草原

3/28、園路を歩きながら観察するだけでもこんなにたくさんの植物が動いていました。

＜開花していた植物＞31種（順不同）

ニリンソウ、ソメイヨシノ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ、ハナニラ、ハルジオン、ジロボウエンゴサク、クサイチゴ、ムラサキケマン、ヤブニンジン、フラサバソウ、コハコベ、ミドリハコベ、タンポポ交雑種、ニワトコ、ウワミズザクラ、ウラシマソウ、タチツボスミレ、ツボスミレ（ニョイスミレ）、アメリカスミレサイシン、ヤエムグラ、アオキ（雌花、雄花）、コクサギ（雌花、雄花）、ホウチャクソウ、アメリカイヌホウズキ、ミチタネツケバナ、イチゴツナギ、オニタビラコ、イスノキ



タチツボスミレ



ツボスミレ（ニョイスミレ）



アメリカスミレサイシン、

＜地上に葉を広げている（展葉している）野草＞7種（順不同）

ウバユリ、ヤブタバコ、ミズヒキ、ダイコンソウ、ヘビイチゴ、ノブキ、ハナウド
みんな春の終わりから秋にかけてきれいな花を咲かせます。さて、この葉っぱはなんの草？ 上の種名の順番に紹介しますので、どれがどれだか確かめてください。



これからのニリンソウ自生地保護活動は
「赤塚公園ニリンソウを守る会」が担うことになりました。
参加者一人ひとりの自主活動が集合したグループです。
誰でも参加、大歓迎！